

新入生挨拶

柔らかな日差しが、春の訪れを感じさせる今日の良き日に、私たちはこの歴史ある日本赤十字秋田看護大学、日本赤十字秋田短期大学に入学でき、大変嬉しく思います。新入生一同、それぞれの目標をもち、これからの生活に胸を弾ませています。

私の母は看護師であり、母が一人一人の患者に合わせケアにあたる様子を幼い頃から見てきました。患者を笑顔にする母に尊敬の念を抱き、私も看護師になると決意しました。患者は肉体的苦痛だけではなく、精神的苦痛も感じると思っています。私は、患者の心に寄り添い、少しでも不安を取り除くことができる看護師になるために、この四年間で専門的知識だけではなく、自身の人間性も磨いていきたいです。そして、目まぐるしく変化する医療の技術に対応できるよう、常にスキルアップを目指し勉学に励んでいきます。

また、オープンキャンパスに参加した際、災害支援ナースという存在について知りました。災害はいつどこで何が起こるかわかりません。災害看護学を学び、いつか必ず人々の役に立つことができるよう頑張りたいと思います。日本だけではなく世界にも目を向け、赤十字の理念である「人道」を心に刻み、新しい仲間とともに切磋琢磨していくことを約束します。そして、未熟な私たちではありますが先生方、先輩方、地域の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で大変な中、このような式を挙行してくださることに感謝し、挨拶とさせていただきます。

令和2年4月7日

新入生代表 看護学部 井上 美佑